

夏 牛が寝なくなると・・・

なぜ暑いと牛は寝なくなるのか？

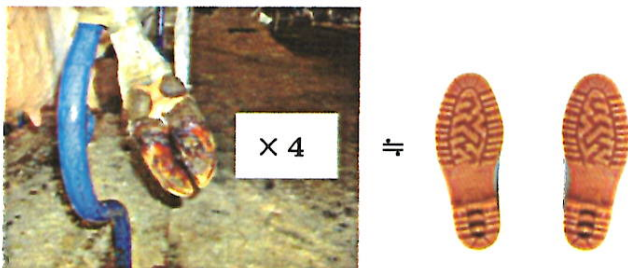
牛は湿度や暑さを感じるとベッドで休息する時間が短くなります。暑熱下の牛は体の熱を放散するために呼吸を速く数も増やして対応します。

しかし横臥休息すると腹腔内の巨大な内臓が横隔膜を圧迫するために呼吸が苦しくなってしまう、寝るのを嫌うようになります（私たちがお腹いっぱい食べて横になると息が苦しいのと同じです）。

牛が立ち続けるということ

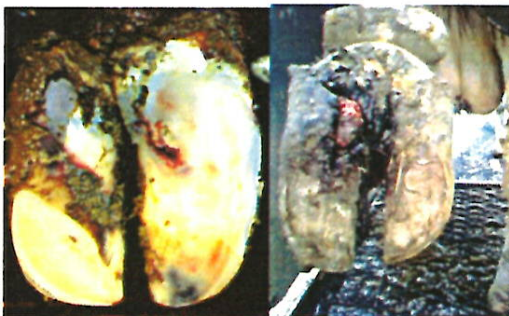
牛の4本の足（8つの蹄）の面積は、成人男性の2本の足の裏の面積とさほど変わりません。

牛と人間の体重差（700 kgと 70 kg）を考えれば、牛が立ち続けるということがどれだけ蹄に負担がかかるか容易に想像つくと思います。

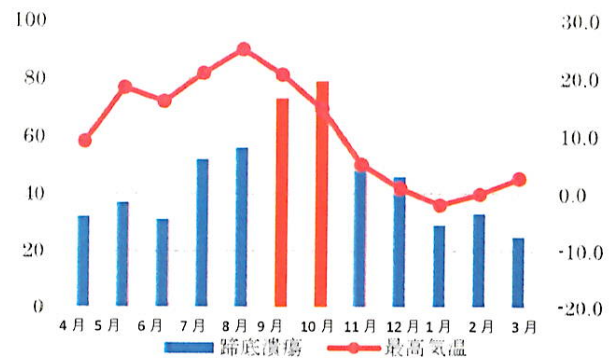


夏に十分な休息横臥ができなかった結果として、夏の終わりころから秋にかけて蹄病が増加します。とくに写真のような「蹄底潰瘍」という蹄病が増加します。

蹄底潰瘍 蹄の裏に穴があき肉芽が突出する



蹄底潰瘍は秋に増加する傾向（岩澤獣医調べ）



牛を寝かせるためには

夏に牛を寝かせるために最もてっとり早いのがベッドの上にファンをつけて寝ている牛に直接風を当てることです。この際ベッドのおが屑が飛んでしまうことを躊躇してはいけません。優先順位は牛に風をあててクールダウンしてやることです。牛に直接あたるような送風をしてやることで結果ベッドも乾きます。

よく採食レーンの上にファンを設置している例を見かけますが、最優先はベッドの上です。牛は1日のうち半分をベッドで過ごします。餌槽で過ごす時間はわずかです。

